

樹と愛楽の夏

2014
夏
第14号



きゃー!虫だー!



季節が春から夏に向かうころは、いろいろな花が咲きほこり、緑が濃くなる気持ちのよい季節。ただ、それにともなって「虫」も大発生。虫は苦手という方も多いのではないのでしょうか。

この季節、公園の木や街路樹にもたくさんの「虫」が！葉を食べつくされてしまうこともあります。うっかり触れてしまうと、かぶれたり、湿疹が出たりしてしまうこともあるので要注意です。

でもよ〜くみると、意外にかわいい顔だったり、害虫を駆除してくれる益虫だったり。“近づけな〜い!!”なんて言わずに、ちょっと観察してみるのもおもしろいかもしれません。 ※危険な虫には気をつけてね。



← スズメバチ
攻撃的で、知らずに巣に近づいたりすると危険。
でも、他の害虫の大発生を抑えてくれる益虫でもあります。



← イラガ
通称でんき虫。(オコゼとか) 独特のフォルムで見かたによってはかわいいかも。でも触れると刺され、痛いので要注意。カキやウメ、ツツジなどに発生。

チャドクガ(幼虫) →
ツバキやサザンカに発生し、風に飛ばされた毒毛でも湿疹がでるといわれているので注意が必要。刺されたらこすったり、掻いたりしないで、ひどい時は病院へ。



カイガラムシ →
いろいろな種類があります。ひどい時には、植物が枯れてしまうので、見つけたら、ブラシなどでこすりおとします。こちらは、ルビーロウムシ。



← アメリカシロヒトリ (幼虫)
サクラの木に大発生することで知られています。長い毛を持つ姿はいかにも悪そうですが、意外にも無毒です。とはいえ、樹木に大発生していると不快です。



← カメムシ
触れると特有の悪臭を放ちます。果実の汁を吸うので悪く扱われがちですが、害虫をやっつける益虫でもあります。アメンボは、実はカメムシの仲間です。

アブラムシ →
たくさんの種類がいて、新芽や葉裏に寄生します。大発生すると植物が弱ったり、ウイルス病に感染したりします。非常に繁殖力が旺盛、蟻との共生でも知られます。



ホタルガ(幼虫) →
ヒサカキ、マサキに発生。触れると液をだし、かぶれることがあります。黄色と黒で目立つ姿をしています。



刺す毛虫、刺さない毛虫

代表的な刺す毛虫と刺さない毛虫です。刺す毛虫には気を付けましょう！！

◇ 刺す毛虫

- チャドクガ (ツバキ、サザンカ、チャ)
- イラガ (サクラ、ケヤキ、カキなど)
- マツカレハ (アカマツ、クロマツなど)
- ドクガ (サクラ、ウメ、バラなど)

◇ 刺さない毛虫

- アメリカシロヒトリ (サクラ、カキ、プラタナスなど)
- マイマイガ (サクラ、クヌギ、クリなど)
- クスサン (クリ、コナラ、イチヨウなど)
- オビカレハ (サクラ、ウメ、ヤナギなど)

ほくは、アブラムシを食べるよ！





ピックアップ公園情報！

＜遠州灘海浜公園～津波避難マウンド～＞

遠州灘海浜公園は、広大な芝生広場、浜松まつり会館、風車、公園の南には雄大な中田島砂丘で知られている公園です。

この遠州灘海浜公園の中田島地区の芝生広場に建設が進められてきた避難施設「津波避難マウンド」が、平成26年3月29日完成しました。



この避難マウンドは海岸から約600m、マウンドの高さは、海拔13.2m、地上10.5m、勾配は約18度。階段は3か所設置、またマウンドを一周する5%以下のスロープが1か所設置されています。

頂上部は1,000㎡の平らな避難場所となっており、1,000人が避難できる構造になっています。

完成してからは、多くの方が散歩のコースとしてマウンドのスロープを歩いています。頂上部からは公園内が見渡せます。



浜松市“緑”と“花”の仕事紹介！

＜浜松公園緑地協会企画課編＞

浜松公園緑地協会 企画課では、花緑に関する緑化啓発事業をはじめ、静岡県グリーンバンク事業の浜松市の窓口、浜松市緑化推進本部として緑の募金事業などを行っています。

2014年4月には、緑化啓発事業の一環で、浜松のオープンガーデンの普及と花と緑を愛する人と人との交流を深めるきっかけとなる「浜松花と緑の庭めぐり2014-2015」ガイドブックを発行しました。

ガイドブックの中では、浜松市でオープンガーデンを行っている個人邸50か所、企業・学校・地域など花壇20か所のお庭を紹介しています。庭主さんたちの丹精込めて育てた植物や綺麗に配置したお庭を是非ご覧ください。

＜ガイドブック販売場所＞

窓口で購入する場合

公園緑地協会事務所（土日祝休み） 中区上島3-27-12 053-411-6687

浜松市緑化推進センター 南区大塚町1876-1 053-426-2300

郵送をご希望の方

ガイドブック購入申込書が必要となります。詳しくは当協会ホームページにて、インターネット等ご覧になれない方は公園緑地協会までお問い合わせください。



1冊 400円





NPO法人グリーンデータバンクでは、浜松市内で見られる身近な樹木から、奥深い自然環境に育つものまで、市民の皆さんに少しでも関心をもってもらうと、次のような活動を行っています。



1. 「樹を見て歩こう」の開催
年2回（5月、11月頃）開催します。市内の公園や市街地などに植えられている樹木を見て歩き、季節ごとの花や実、紅葉などを観察します。
2. 「樹を見て歩こうマップ」の作成、発行
緑の募金事業の助成を受けて、年1回、樹木観察マップを発行しています。これまで、①街路樹 ②桜並木 ③公園の緑 ④巨樹名木の各テーマをとりあげました。これを持って出かければきっと興味も広がることでしょう。

は・ま・ま・つ
樹を見て歩こうマップ



①街路樹編

桜
樹を見て歩こう
みどころマップ



②桜並木編

樹を見て歩こう
公園マップ



③公園の緑編

はままつ
樹を見て歩こう
巨樹・名木マップ



④巨樹巨木(中区ほか)編

はままつ
樹を見て歩こう
巨樹・名木マップ



④巨樹巨木(天竜区)編



知ってましたか？ 花と緑の豆知識

お花の育て方のワンポイント講座<シンビジューム編>

暮れからお正月にお部屋を飾っていたシンビジュームが、翌年からなかなか花をつけてくれないという相談が聞かれます。1年株を充実させるにしても2年後には花を咲かせられるように、栽培のポイントをお教えしたいと思います。

・お持ちのランは今どのような状態でしょうか。

株が縁からはみ出そうになっている鉢は、株分けして植え替えます。このときバルブ(イモのような塊)は3個残し、株の大きさに合った鉢に植え付けます。根に隙間なくバークが入るように詰め込みます。1か月は、通常より水を控えて育てます。肥料は1か月後にします。



育て方4つのポイント



1. シンビジュームは日光が大好きです。西日を避け、葉焼けをしない程度に日に当てます。ただし、部屋に置いていたシンビジュームを、いきなり日光に当てると瞬間に葉焼けしてしまいます。4月に入ったら、午前中の日光から徐々に慣らしていきましょう。6月の直射日光は強烈なため、30%遮光の寒冷紗で葉焼けを防ぎます。慣れれば直射日光も平気になり葉の色も黄色味を帯びて立った葉になります。10月から3月までは直射日光に当てます。

2. 4月～9月の生長期は乾かさないように毎日水やりします。梅雨時期の雨もそのまま当てて大丈夫です。夏に夕方乾いているようであれば日が陰ってから鉢と葉と周囲に水撒きして灌水と同時に気温を下げてあげます。根がパンパンに張っている場合は、水を張ったバケツに数分つけます。乾燥する夏にダニが発生することがありますので葉の裏に強く水をかけて吹き飛ばします。ダニは、葉に穴をあけるため白っぽくなります。

3. 春から夏の生長期には肥料を必ず与えます。シンビジュームは、他のランに比べて多肥栽培します。4月に入り油粕と骨粉を同量混ぜた2～3cm大のものを7月下旬まで月1回の割合で芽と反対側に与えます。また、液肥を月2～3回与えます。8月は、窒素分のないリン酸肥料で花芽促進を図ります。9月からは花芽をつけるため一切肥料を与えません。花芽をナメクジに食べられないように注意しましょう。

4. 9月以降の新芽は欠き取り1本を充実させます。このとき、芯が残らないようにえぐり取ります。新芽を1本にすることで充実したバルブになり、花芽が着きやすくなります。(間違えて花芽を欠かないように!!)

※ 11月以降気温が10度以下になったら室内へ取り込み日の当たる場所で管理し、時々外で日光浴させましょう。花芽が伸び出したら50～60cmの支柱を立て、徐々に花芽を沿わせてまっすぐに誘引しましょう。



みどり関係イベント情報

イベント名	開催日	開催場所	問合せ (市外局番 053)
野草観察会	7月24日(木)、8月28日(木)	佐鳴湖公園北岸管理棟	北岸管理棟 ☎476-0210
こどもまんようまつり	7月27日(日)	万葉の森公園	万葉の森公園 ☎586-8700
みどりの夏まつり	8月7日(木)	みどり～な	みどり～な ☎426-2300
浜松城昔遊び	8月14日(木)	浜松城公園	公園緑地協会 ☎411-6687
第13回春野テニス大会	9月28日(日)※8/1～申込受付	春野ふれあい公園	公園緑地協会 ☎411-6687



こどもまんようまつり



みどりの夏まつり

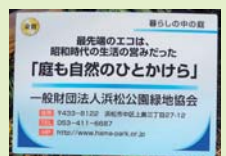


春野テニス大会



児童プール

◇児童プール情報	相生、船越、和地山、浜松城	開放期間は、7/19(土)～8/31(日)の予定です。詳しくは「広報はままつ7/5号」をご覧ください。
----------	---------------	---



浜名湖花博2014ガーデンパーク会場に出展しました！

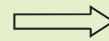
ガーデンパークとフラワーパークで開催されていた「浜名湖花博2014」。会場に足を運んだ方も多いのではないのでしょうか。協会からは、「暮らしの中の庭」ブースに出展をしました。過ぎてみればあっという間の3か月。庭を解体するのはもったいない！



始めは、なにもない更地。土を入れ、石を積み上げるのも自分たちで。がんばりました。



手作りの薪小屋がやってきた！



花を植え、畑を作り。小さなスペースを有効に使って、イメージする庭へ近づけていきました。

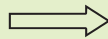


完成!!

とはいっても、このあとも大変でした。緑は生きているので、どんどん大きくなり。。



開催期間中も、花を入れ替えたり、草を刈ったり、最後は、ムギを刈って展示したりと、大忙しでした。でも、開催期間の最後まで、自分たちの思いを込めた庭が展示できました。



県知事賞をいただきました。

一般財団法人 浜松公園緑地協会

〒433-8122
 静岡県浜松市中区上島三丁目27番12号
 TEL:053-411-6687/FAX:053-464-7274
 e-mail hamamatsu.p.g.asso@coral.ocn.ne.jp
 URL http://www.hama-park.or.jp/

樹土愛楽 発行日:2014. 6. 15 年4回発行

編集後記: せっかく育てた野菜や花を食い荒らしてしまう「害虫」。でも、人間がきれいだと思うもの、おいしいと思うものと同じ好みを持っていると考えたら、少しはかわいく見えてきませんか？人間にとって困った虫でも、子孫を残すために、弱肉強食の世界で毎日必死に生きています。出来る限り上手に共存していきたいものですね。(み)



R100
再生紙を使用しています。